



宗像大社秋季大祭の幕開けを飾る「みあれ祭」の様子。  
海上安全や大漁など願って行われる。



## 一宗像人の願い

宗像・沖ノ島と関連遺産群  
～世界遺産を目指して～

養父信夫 (高33回)

歌会始預選歌)。

この歌は、宗像大社の

神官であった父が、沖ノ

島の勤めを終え、船で無

事に帰つてくることを、

その当時住んでいた大島

の波止場から願つて詠ん

だ母の歌である。母に連

れられ當時3歳くらい

だった自分も、その日の

夕焼けに煌めく海は幼心

に記憶に残っている。

沖ノ島には宗像大社の

沖津宮があり、宗像市神

湊から約60キロ、朝鮮半

島との九州をつなぐ、ま

さに絶海の孤島である。

島で見聞きしたことは

一切語つてはならない、

タベやすけく 波止に

夫(つま)が 帰るべき

海岸に 出でたる

島守に

夕焼けに �煌めく海は幼心

が、島の島、沖ノ島は現

在に至るまで厳しい禁忌

が守られている。

平成21(2009)年、

ユネスコの世界遺産暫定

リストに『神宿る島』

宗像・沖ノ島と関連遺産

群』が記載された。倭(ヤ

マト王権)が力を持った

農具としての鉄の存在

には、武具として、ま

た農具としての鉄の存在

には、武具として、ま